

麻酔・救急系

[M3-50028X1]

1 ユニットの概要

麻酔・救急系ユニットでは重症患者の全身管理が適切に行えるよう、基礎および臨床医学の基本的知識をもとに、全身状態を把握したうえで問題点を指摘し、これに対処する方法を修得することを目的とする。ユニットの到達目標は臨床実習中の学習と合わせ、実習終了時に到達していればよいこととする。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技能
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探究心

3 ユニットの到達目標（アウトカム）

- 病歴を聴取できる (③)
- 基本的な理学所見を取れる (③)
- 患者の問題点を把握し、症例提示ができる (③⑥)
- 麻酔管理について薬剤、気道確保、麻酔方法について理解する (③)
- 生命に危機を及ぼす病態に対応する方法を理解する (③)
- 心肺蘇生法を説明し、一次救命処置を実施できる (③)
- 患者の状態に適した管理法と、用いられる薬物を選択できる (③)
- 重症患者に用いる機器を使用できる (③)
- 急性および慢性疼痛管理について説明できる (③)
- 痛みの治療、緩和医療の概念を理解し、チーム医療の内容を説明できる (①②③④⑤⑥)

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

疼痛、苦痛、出血、ショック、心肺停止、意識障害、呼吸不全、心不全

疾患

がん、中毒、脳卒中、外傷、熱傷、溺水

治療

全身麻酔、局所麻酔、鎮痛法、心肺蘇生、輸液と輸血、人工呼吸

4 学習方略

統合型講義、グループ学習

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	実習	知識・技能・態度	
	授業の出席	態度	
総括的評価	ユニット試験	知識	90%
	実習	知識・技能・態度	10%
合計			100%

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

教科書の該当部分を読んでおくこと。
シラバスの資料についてあらかじめ目を通しておくこと。

【自己学習に必要な時間】

講義1時限当たり 予習60分、復習30分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

実習については、実習中にフィードバックする。

9 教育担当者

ユニット責任者：高橋 完（麻酔科学）

責任者 麻酔：高橋 完（麻酔科学）

救急：講座主任（救急医学）

講義担当教員については、授業計画表に示す。

10 参考図書・文献

「標準救急医学」第5版 医学書院（日本救急医学会 監修）

「標準麻酔科学」第7版 医学書院（古家 仁 監修）

第3学年

麻酔・救急系

学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	10月29日	(火)	1	講義	麻酔科学総論・全身麻酔	F-2-10)-①	麻酔科学	高橋教授
後	2	10月29日	(火)	2	講義	吸入麻酔薬	F-2-10)-④	麻酔科学	高橋教授
後	3	10月29日	(火)	3	講義	静脈麻酔薬・麻薬性鎮痛薬	F-2-10)-④	麻酔科学	高橋教授
後	4	10月30日	(水)	1	講義	麻酔・救急系ユニット概説と救急医療の概念	G-4-1)-(7)	救急医学	牛本講師
後	5	10月30日	(水)	2	講義	災害医学(1)	G-4-1)-(7)	救急医学	牛本講師
後	6	10月30日	(水)	3	講義	災害医学(2)	G-4-1)-(7)-⑤	救急医学	牛本講師
後	7	11月01日	(金)	4	講義	環境異常と治療、溺水	E-5-3	救急医学	伊藤助教
後	8	11月01日	(金)	5	講義	試験に出る救急基本手技	G-3	救急医学	伊藤助教
後	9	11月01日	(金)	6	講義	一次救命処置、二次救命処置	G-4-1)-(7)-G1	救急医学	伊藤助教
後	10	11月05日	(火)	1	講義	筋弛緩薬	F-2-10)-③	麻酔科学	木田講師
後	11	11月05日	(火)	2	講義	局所麻酔薬	F-2-10)-⑥	麻酔科学	木田講師
後	12	11月05日	(火)	3	講義	脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔	F-2-10)-⑥	麻酔科学	東谷沙希助教
後	13	11月06日	(水)	1	講義	脳卒中	D-2-4)-(04)	救急医学	伊藤助教
後	14	11月06日	(水)	2	講義	中毒の原因と治療(1)	E-5-3)-(1)	救急医学	平川助教
後	15	11月06日	(水)	3	講義	中毒の原因と治療(2)	E-5-3)-(1)	救急医学	平川助教
後	16	11月08日	(金)	4	講義	頭部外傷	D-2-4)-(04)	救急医学	東谷俊太助教
後	17	11月08日	(金)	5	講義	ショックの分類と治療(2)	F-1-05)	救急医学	平川助教
後	18	11月08日	(金)	6	講義	ショックの分類と治療(3)	F-1-05)	救急医学	平川助教
後	19	11月12日	(火)	1	講義	術前管理	F-2-10)-②	麻酔科学	森川講師
後	20	11月12日	(火)	2	講義	周術期のモニタリング	F-2-09)-(2)-②	麻酔科学	松葉助教
後	21	11月12日	(火)	3	講義	緊急手術の麻酔	F-2-10)-①	麻酔科学	松葉助教
後	22	11月14日	(木)	1	講義	術後疼痛管理	F-2-09)-(2)-⑧	麻酔科学	森川講師
後	23	11月14日	(木)	2	講義	痛みの治療	F-2-16)-④	麻酔科学	本間講師
後	24	11月14日	(木)	3	講義	緩和ケアとチーム医療	F-2-16)-①	麻酔科学	本間講師
後	25	11月15日	(金)	4	講義	熱傷と電撃症	E-5-3)-(3)	救急医学	東谷俊太助教
後	26	11月15日	(金)	5	講義	刺咬症、異物、アナフィラキシー	E-5-3)-(1)	救急医学	東谷俊太助教
後	27	11月15日	(金)	6	講義	外傷患者の診断と治療	G-4-1)-(7)	救急医学	東谷俊太助教
後	28	11月18日	(月)	1	講義	特別講義 全身麻酔と気道管理(1)	F-2-10)-①	麻酔科学	今宿康彦(滋賀医科大学)
後	29	11月18日	(月)	2	講義	特別講義 全身麻酔と気道管理(2)	F-2-10)-①	麻酔科学	今宿康彦(滋賀医科大学)
後	30	11月18日	(月)	3	講義	集中治療	F-2-09)-(2)-⑩	麻酔科学	高橋教授
後		11月20日	(水)	1	試験	本試験			
後		11月20日	(水)	2	試験	本試験			
後		11月20日	(水)	3	試験	本試験			